

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1473701470
法人名	株式会社 サンライフ
事業所名	グループホーム サンライフ青葉
訪問調査日	平成 23 年 9 月 8 日
評価確定日	平成 23 年 10 月 31 日
評価機関名	株式会社R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473701470	事業の開始年月日	平成18年3月4日	
		指定年月日	平成18年3月4日	
法人名	株式会社 サンライフ			
事業所名	グループホーム サンライフ青葉			
所在地	(227-0032) 横浜市青葉区成合町443-2			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成23年8月31日	評価結果 市町村受理日	平成23年12月26日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな環境での生活の中でも生活観のある環境作りに勤めています。
家庭菜園や近隣へのお買い物、お散歩など外出の機会を多くし施設内での生活に留まる事の無い様に配慮しています。
スタッフの退職者も少なくご利用者様が安心できるお手伝いが出ていますと考えます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成23年9月8日	評価機関 評価決定日	平成23年10月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①経営は(株)サンライフで、現在、グループホームとしてこのサンライフ青葉を、そして横須賀市三春町にグループホームとデイサービスを併設施設を展開している。理念は「すべての利用者様が楽しく安全で安心した時間を過ごせるようスタッフ全員で努力する」であるが、事業所別独立採算制が採用されたので、ここ独自の理念の作成を考えている。作成のプロセスとして、基本方針の「同性介助」と「介護は会話」以外は全てフロア毎のフロアリーダーに任せ、ケアマネがサブでサポートすることで作成を考えている。ご利用者を中心に据えたケアに重点を置いて展開している。ここは田園都市線青葉台駅からバスで10分位の新興住宅地の中にあり、近くに進学校で有名な桐蔭学園や寺家ふるさと村があり、川が流れ、周囲の畑や果樹園などが田園地帯の名残を残している。

②地域との関係では、残念ながら町内会長の同意が得られず運営推進会議は開催出来ないが、近所の三味線教室に利用者が月謝を払って参加したり、その三味線教室の人達がホームに来て演奏してくれたり、交通費のみお支払いし、英会話の先生に来て頂き英語教室をホーム内で開き、利用者が“ Good Morning ! ” “ How are you ! ”等と楽しんでいる。職員の自由な発想と地域との繋がりで実現出来た例であり、着実に地域との交流が深まっている。その他、ボランティアの方はハーモニカ、ハンドベル、手品、茶道など協力してくれている。庭の家庭菜園では毎年、大きな収穫が出来、ご入居者も収穫を楽しみにしている。

③介護計画についても、皆で考えた新しい介護計画を展開している。計画の欄にセンター方式に近い「私の気持ち」欄があり、前回の介護計画の評価、ご家族との介護計画についての話し合いの状況の3つを反映して、今年度の介護計画を作り上げている。フォーマットは極めてシンプルな構成であるが、このフォーマットを職員が話し合っで作った点がポイントで、自分達の介護計画となっている。管理者は「介護は会話」、「同性介助」の2つの大方針のみを示しており、「私の気持ち」欄は正に「介護は会話」により職員がご利用者から傾聴したものである。介護計画の作成と併せて、職員のレベルアップも図っている。食事は手作りを原則とし、入居者と一緒に買い物に行き、メニューを決め提供している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム サンライフ青葉
ユニット名	1 F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	決して事業所内だけでのサービス提供に留まることなく近隣施設や地域交流をサービス提供に取り入れるように計画実施している	理念は「すべての利用者様が楽しく安全で安心した時間をすごせるようスタッフ全員で努力する」であるが、事業所別独立採算制が採用されたので、ここ独自の理念の作成を考えている。作成のプロセスとして、基本方針の「同性介助」と「介護は会話」以外は全てフロア毎のフロアリーダーに任せ、ケアマネがサブでサポートすることで作成を考えている。ご利用者を中心に据えたケアに重点を置いて展開している。事業所内だけでのサービス提供に留まることなく近隣施設や地域交流をサービス提供に取り入れるように計画実施している。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の三味線教室に参加、近隣のスーパーへ買い物に同行や近隣の散歩、スタッフの子供との交流を行っている	民生委員のご協力も得て、地域ケアプラザとの協働で地域資源の活用、地域商店の利用などを行い、ご利用者に生活を楽しんで頂ける支援を行っている。近所の三味線教室に利用者が月謝を払って参加したり、その三味線教室の人たちがホームに来て演奏してくれたり、英会話の先生に来て頂き、ホーム内で英語教室を開き、利用者は英語を話し楽しんでいる。職員の自由な発想と、地域とのつながりで実現出来た例であり、着実に地域との交流が深まっている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣住民からの問い合わせ、高齢者介護サービスの紹介等を受けてその都度お答えしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行っていない	残念ながら町内会長の同意が得られず運営推進会議は開催出来ていない。青葉区役所にも相談し、今後実施できるよう努めて行く。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	青葉区役所生活保護課と入居者の生活について協力している	青葉区役所とは介護保険の更新時等にホームの現状を伝えたり、実地指導等で行政が事業所に来訪された時に意見交換したり、生活保護課と入居者の生活について協力したり、スプリンクラーの件では施設課と連携している。改組に伴い、横浜市事業指導室とも関係が出来た。行政主催の研修にも参加している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護上での身体拘束を行わないように各リーダーへの教育を行っている、施設設備に関しては玄関、各階廊下のドアは安全上施錠をしている	近所に作業所等があり、不特定な人の往来もあるので、玄関の施錠は防犯上、常時施錠している。但し、庭はオープンで畑仕事、随時の外出を行っており、閉塞感は全く感じられない。身体拘束に関しては、各リーダーを通じて拘束における弊害を職員に指導し、充分理解して介護にあたっている。「自分に置き換えて考える」点は徹底出来ている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護者が虐待の意識がなくてサービス提供を行い、結果ご利用者本人の意思に反するサービス提供が行われないように努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	あまり行っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にはご家族様の疑問や不安点に十分注意した上で読みあわせを行い最後にサインと捺印を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画書の同意の際にご意見を頂くように随時お願いをしています。 また来訪時や連絡にて直接お伺いする場合があります。	介護計画書の更新時などにご家族様からの要望をお受けしたり、個別プラン（外出等）の要望をお受けしている。要望、苦情等は職員に直接言って頂けるように配慮している。要望等はカンファレンスで極力介護計画内容に反映するようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているカンファレンスの場や気がついた時に上申できる環境作りに努めている	職員からの外出や企画等の申し出があった場合には実施できるように支援している。ホームでは何でも言いやすい雰囲気作りに努めており、何を云っても叱ることは控え、意見を吸い上げるようにしている。研修や資格を取りに行きたい人にはホームで費用を半分負担するなど支援して、育成にも力を入れている。目標管理についてはチーム目標として設定し、それに個人としてどう関わって行くか、チームケアに於ける役割分担として展開している。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出勤日を希望制にする等働きやすい環境作りに努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望者には研修を行えるよう配慮している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	あまり出来ていない		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員からの積極的なお声掛けをしたり他のご利用者様との交流を設けたりして安心できる環境作りに努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期のアセスメントの際にご家族様が施設に望む事と施設で対応できる事を話し合い納得できるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居開始時の不安定な状況下での突発的に起きる介護支援をスムーズに行うように事前にご家族様と過去の実例を交えてお話しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話を中心としたサービス提供で共に楽しみ喜び合えるような関係を気付ける様に努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事を行う際に参加のお声掛けをし可能な限り参加して頂く様にして家族とご入居者様が同一空間で楽しむ時間を出来るように心がけています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人との交流や趣味の時間を大切に考えています、必要に応じたお手伝いを心がけています	ご家族様以外の友人等については、ご家族に了解を得た上で、自由に接する事が出来るように支援している。基本的には個別ケアを重視し、ご家族の協力を得ながら対応を進めている。息子に電話したいと言えば確認の上して頂いているし、外食・外泊等はご家族が望めば何時で対応可能としている。来られる人が自由に来られる体制を持つよう心がけている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	買い物や外出の際に人間関係を見ながら数人にお声掛けをし利用者様同士での交流が出来るように努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	引き続きイベントのお誘い等を行っています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様からのご要望や入居時情報から趣味思考を把握し、さらにカンファレンス等で職員からの現状のADLに応じた無理の無い支援を心がけています	本人の要望、ご家族からの要望や入居時情報から趣味思考を把握し、更にカンファレンス等で職員から現状のADLを聞き、ADLに応じた無理の無い支援を心がけている。アセスメント表もセンター方式のような形を示すと、形に拘る傾向があり、自分たちで考えられる項目でアセスメントを行い、「自分に置き換えて考える」を基本としたケア、個別ケアが実現出来るよう進めている。職員からの企画等の申し出は実施した上で評価、反省、再挑戦をするよう指導している。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時にご家族様やその際の状況に応じて医療機関等からの情報を頂くようにして初期の介護計画書に反映させている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録を通じて日々の様子を把握し精神状況その他必要に応じての対応に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで職員の意見を集約し、その内容から介護計画書を作成しご家族様に承認を得る様にしている。その際ご家族様からのご要望があれば積極的に取り入れるように努めています	3ヶ月ごとにカンファレンスを行い、現状のサービス内容が入居者に会っているかを検証し、変化があった場合はその対処方法を職員で話し合い、ご家族からのご要望があれば積極的に取り入れ、新計画に反映するようしている。介護計画は最終的に管理者、ケアマネが確認して展開している。カンファレンスでの課題等はご家族に開示し、内容によってはご家族に協力して頂いている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実施している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スムーズに動く事に関してはスタッフでばらつきがあるが取り組むように務めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣への散歩等を通じ四季を感じる事が出来るように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個人記録や職員からの聞き取りを往診医に伝えるように努めている、また服薬の変更があった際にはご家族様に連絡するように努めている	往診は都筑ふれあいの丘クリニックの医師が2週間に1回来てくれており、入居時に相談はするが、今は全員その往診を受けている。初回受診時に、医師とご家族の面談を設け、ご家族の気持ちや考えを元に医療方針を決定している。また、服薬の変更があった際にはご家族様に連絡するようにしている。看護師は週3日程度出勤してもらっている。医療連携の申請はしていないが、医療の体制は整っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個人情報や連絡ノートを活用し共有できるように努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	実施している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご家族様に説明して、実際に重度化を迎えた場合は医療機関とご家族様と連携をとりご家族様のご要望を叶える対応を取れるように努めたい	医療連携の申請はしていない。グループホームは医療機関では無いとの趣旨を十分に説明し、ご家族も理解頂いている。ADL等の低下に伴う寝たきり状態になった場合のケアに関しては、ご家族に、どの介護サービスがご本人にとって一番良いのかを判断頂き、医師とも相談し、その決定に対して極力対応するよう取り組んでいる。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全員は出来ていない、初期対応の訓練を地域消防署と連携して行って生きたい		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	一時避難場所の把握は出来ているが広域避難の場合は出来ていない	避難訓練は夜間想定のものも含めて実施している。備蓄も2日分位いはある。(缶詰、水、パックのご飯、カセットコンロ、懐中電灯、炭、薪当) スプリンクラーは設置済みである。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	安心できるお声掛けを心がけ実施している	安心できる声掛け等、利用者が気分を害さないように配慮している。お風呂やトイレの同性介助等も希望の方には対応に努めている。人格の尊重、プライバシーについての研修も実施している。居室に入る際にはノックをする、身体介護の際にはカーテン等の配慮をする等、自分だったらどのように思うかをテーマに日々指導し、実践している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お着替えや献立、お飲み物を選んで頂くように日々のお声掛けをするように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会話の中からお要望をお伺いしストレスのない時間を過ごせる様に努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧品や整髪を鏡を見ながらお手伝いするように努めています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	実施している	献立は作らず、だぶらないようにメニューを記録し、ご利用者の希望を聞いて、一緒に買い物に行き、冷蔵庫の残りを確認しながら食事の提供を前提としている。利用者の残存機能を考慮した上で、準備や片付けに参加して頂けるように声掛けしてしている。チラシで食べたいものを聞き、一緒に近くの商店やスーパーへ買いに行き一緒に作っている。重いもの（八百屋さんなど）は配達してもらっている。透析で食事制限のある人で、好みがある場合には、水分は尊重し、栄養は医師に相談し、ご家族の了解を得ながら好きな物を出すなど配慮している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医療機関との連携をしながら実施しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食毎に実施しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツやリハビリパンツの汚れ具合や排泄パターンを見て取り組んでいます	ご本人が恥ずかしくないように配慮しながら声掛けを行い、気配があれば誘うことはもちろん、入浴前、朝夕、食事と歯磨きの間などタイミングを見極めて誘導に努めている。排泄表により排泄間隔を把握したり、パット交換時にパットの状態を確認しパットが必要かどうかの話し合いをカンファレンス時の議題の一つにするように取り組んでいる。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を基に排便の有無を確認し無排便日数が3日を超える場合は看護師の指導の下下剤等の処方を受けるようにしています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の間隔を2～3日としてその対象となったご入居者様にお声掛けをして納得して頂いたら入浴実施しています	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回の間隔で入浴を楽しんでもらっている。お風呂も大切であるが、ご本人の気持ちも大切にするよう、職員は考慮しながら対応するよう指導している。足浴は毎日実施しているので、水虫の方はいなくなり清潔に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お昼寝の時間を設けることなく、ご本人のご要望を聞き入れ対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を管理しスタッフが閲覧できる状態にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様の表情を感じ取り必要に応じて個別対応を取り入れるように努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様との面会や外出に制限を設けることなくご家族様の予定に合わせ必要に応じた支援をするように努めている。また日々の生活でも外出のお声掛けを実施し外出の機会を設けるように努めている	ご本人やご家族のご要望を取り入れた、ご家族の予定に合わせた、必要に応じた外出の機会が持てるよう取り組んでいる。涼くなれば、散歩は早朝も含めて、少人数ずつ日に5～6回は出ている。遠出は2ヶ月に1回程度、グループに分けて出かけている。庭で食事したり、お弁当を持って公園で食事する等、銀座、温泉、美術館などへも出かけている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	防犯の視点から入居者個人での現金貴重品の所持はお断りしています。外出の際の現金の支払の場面では参加して頂くように取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	過度な照明や音量には常に配慮し、リビングでの生活音（調理や掃除）、生活臭（調理や洗濯）を演出するように努めています	過度な照明や音量には常に配慮し、リビングでの生活音（調理や掃除）、心地よい生活臭（調理や洗濯）を演出するように努めている。イベントの写真や季節感のある工作物を配置し、会話のきっかけになるように工夫して対応に努めている。リビングはホーム内では1つの「公共の場」とであると認識し、自分の城である居室と差をつけて少しフォーマルな気持ちも大切にすることと併せて、居心地良い場所となるよう工夫している。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでの座席とソファ以外では居室対応となりますが、ご利用者様のご希望にあわせて生活できるように対応しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご家族様に協力して頂くように努め備品の種類や配置では移動の空間確保のみ対応するようにしている	使い慣れたものや好みのものはすすんでお持ち頂くよう、ご家族に促している。また、居室内は自由にアレンジして頂いて、ご本人が居心地良く過ごせるように配慮している。リビングの「公共の場」に対し「自分の城」として安心出来るスペースにしてあげたいと考えている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スタッフの意見やご家族様のご要望をお聞きして介護計画書に反映するよう努めている		

事業所名	グループホーム サンライフ青葉
ユニット名	2F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	決して事業所内だけでのサービス提供に留まることなく近隣施設や地域交流をサービス提供に取り入れるように計画実施している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の三味線教室に参加、近隣のスーパーへ買い物に同行や近隣の散歩、スタッフの子供との交流を行っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣住民からの問い合わせ、高齢者介護サービスの紹介等を受けてその都度お答えしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行っていない		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	青葉区役所生活保護課と入居者の生活について協力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護上での身体拘束を行わないように各リーダーへの教育を行っている、施設設備に関しては玄関、各階廊下のドアは安全上施錠をしている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護者が虐待の意識がなくてサービス提供を行い、結果ご利用者本人の意思に反するサービス提供が行われないように努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	あまり行っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にはご家族様の疑問や不安点に十分注意した上で読みあわせを行い最後にサインと捺印を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画書の同意の際にご意見を頂くように随時お願いをしています。 また来訪時や連絡にて直接お伺いする場合があります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているカンファレンスの場や気がついた時に上申できる環境作りに努めている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出勤日を希望制にする等働きやすい環境作りに努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	希望者には研修を行えるよう配慮している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	あまり出来ていない		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員からの積極的なお声掛けをしたり他のご利用者様との交流を設けたりして安心できる環境作りに努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期のアセスメントの際にご家族様が施設に望む事と施設で対応できる事を話し合い納得できるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居開始時の不安定な状況下での突発的に起きる介護支援をスムーズに行うように事前にご家族様と過去の実例を交えてお話しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話を中心としたサービス提供で共に楽しみ喜び合えるような関係を気付ける様に努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事を行う際に参加のお声掛けをし可能な限り参加して頂く様にして家族とご入居者様が同一空間で楽しむ時間を出来るように心がけています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人との交流や趣味の時間を大切に考えています、必要に応じたお手伝いを心がけています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	買い物や外出の際に人間関係を見ながら数人にお声掛けをし利用者様同士での交流が出来るように努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	引き続きイベントのお誘い等を行っています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様からのご要望や入居時情報から趣味思考を把握し、さらにカンファレンス等で職員からの現状のADLに応じた無理の無い支援を心がけています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時にご家族様やその際の状況に応じて医療機関等からの情報を頂くようにして初期の介護計画書に反映させている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録を通じて日々の様子を把握し精神状況その他必要に応じての対応に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスで職員の意見を集約し、その内容から介護計画書を作成しご家族様に承認を得る様にしている。その際ご家族様からのご要望があれば積極的に取り入れるように努めています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実施している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スムーズに動く事に関してはスタッフでばらつきがあるが取り組むように務めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣への散歩等を通じ四季を感じる事が出来るように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個人記録や職員からの聞き取りを往診医に伝えるように努めている、また服薬の変更があった際にはご家族様に連絡するように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個人情報や連絡ノートを活用し共有できるように努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	実施している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご家族様に説明して、実際に重度化を迎えた場合は医療機関とご家族様と連携をとりご家族様のご要望を叶える対応を取れるように努めたい		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全員は出来ていない、初期対応の訓練を地域消防署と連携して行って生きたい		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	一時避難場所の把握は出来ているが広域非難の場合は出来ていない		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	安心できるお声掛けを心がけ実施している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お着替えや献立、お飲み物を選んで頂くように日々のお声掛けをするように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会話の中からお要望をお伺いしストレスのない時間を過ごせる様に努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧品や整髪を鏡を見ながらお手伝いするように努めています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医療機関との連携をしながら実施しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食毎に実施しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツやリハビリパンツの汚れ具合や排泄パターンを見て取り組んでいます		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を基に排便の有無を確認し無排便日数が3日を超える場合は看護師の指導の下下剤等の処方を受けるようにしています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の間隔を2～3日としてその対象となったご入居者様にお声掛けをして納得して頂いたら入浴実施しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お昼寝の時間を設けることなく、ご本人のご要望を聞き入れ対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を管理しスタッフが閲覧できる状態にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様の表情を感じ取り必要に応じて個別対応を取り入れるように努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様との面会や外出に制限を設けることなくご家族様の予定に合わせ必要に応じた支援をするように努めている。また日々の生活でも外出のお声掛けを実施し外出の機会を設けるように努めている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	防犯の視点から入居者個人での現金貴重品の所持はお断りしています。外出の際の現金の支払の場面では参加して頂くように取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	過度な照明や音量には常に配慮し、リビングでの生活音（調理や掃除）、生活臭（調理や洗濯）を演出するように努めています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでの座席とソファ以外では居室対応となりますが、ご利用者様のご希望にあわせて生活できるように対応しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご家族様に協力して頂くように努め備品の種類や配置では移動の空間確保のみ対応するようにしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スタッフの意見やご家族様のご要望をお聞きして介護計画書に反映するよう努めている		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム
サンライフ青葉

作成日 平成23年12月22日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を行っていない	定期的に行えるようにする 年6回	地域住民の協力を得ながら町内会長等積極訪問する 地域包括支援センターの協力・指導を得る	4ヶ月間
2	12	急変・事故発生時の備えが不十分	すべての職員が初期対応できるようにする	定期的に看護師を中心とし、研修会・技術指導を受ける	3ヶ月間
3	7	同業者との交流が不十分	積極的な研究会、研修参加する 積極的な営業活動	横浜市グループホーム連絡会への参加 目標回数を持った営業活動	3ヶ月間
4	5	権利擁護に関する制度の理解と活用がされていない	権利擁護に関して説明できるようにする	積極的な研修会、研修参加	3ヶ月間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。